第三種郵便物認可

Fuji Sankei Business i.

2014年4月9日(水)

太陽エネクス

非常用簡易トイレ 使用感向上

FBI ステップアップ

災害対策事業などを手掛ける太陽エネクスは、非常用簡易トイレ事業に参入した。これまでの問題点を改善し、小型化して保管しやすくしたほか、独自の排便袋も導入した。ノロウイルス対策用品としての用途も注目されており、企業や自治体、学校などに売り込んでいく。初年度は5000万円、3年目には3億円の売り上げを目指す。

非常用簡易トイレは、災害時に水や電気が止まってトイレが使えないときに使用する。既存トイレの便器に排便のための袋をセットして、用を足した後に抗菌消臭凝固剤を振り掛けて固める。その後排便袋を外してしっかり結び、可燃ごみとして処分する仕組みだ。

「ココレット100」の価格は1箱1万4904円。100回分が1セットになり、10年間保存することができる。事務所内のキャビネットや机の引き出しで保管できるよう、100回分としては業界最小となる、A4サイズのパッケージに納められるようにした。

これまでの非常用簡易トイレの場合、利用者からはとくに排便袋に関する改善要望が多かった。黒色の既製品に対する不快感が意外に強く、使用時にがさがさ音がすることへの不満の声も寄せられていた。

このため同社では、独自の排便袋を製作することで問題を解消した。伸縮性のある低密度ポリエチレンを素材としたことで、音を軽減。中身の透けないよう銀色にすることで使いやすくした。また便器の形状に合わせて横長の形にしているため、着脱もしやすくなっている。

「利用者の意見を丁寧にヒアリングして商品化した。画期的な変化はないが、売り込み先では『備蓄を更新する際には購入したい』と反応は上々だ」と新田政樹社長は話す。

「ココレット100」の使用

また簡易トイレとしてだけでなく、ノロウイルス対策品として購入する企業や学校も出てきている。感染者の嘔吐物を速やかに凝固剤で固めることができるためで、空気感染を防ぐ有効な方法として注目されている。

海外展開については、米国と中国へ向けて、来年から輸出できるように準備を進めている。

富士経済の調べによると、災害・地震対策や感染症対策などの危機管理関連市場は、東日本大震災が発生した2011年で前年比10%増の1兆4655億円、18年には11年比で31%増の1兆9200億円へ大幅に伸びると予測している。

（佐竹一秀）

■会社概要
△本社＝東京都中野区中央1―20―26
△設立＝2013年9月
△資本金＝900万円
△従業員数＝12人
△売上高＝6000万円（14年8月
△事業内容＝災
企業連携
―発電

（井田道人）

講師のホンネ

の挨拶、これを知ればもう困らない

な挨拶で恥ずかしい思いをした経

突然に挨拶役を

が存在しているのには、理由が

ます。まず『冒』ですが、

を辞書で調べると『行事

盛り上がっているとき

極まっているさま

ります。つま